

所管課	健康増進部介護高齢課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策											
	第2章 共生共感都市		04 高齢者福祉		02 健やかで安心できる暮らしを支援する											
事業：介護予防支援事業													整理番号	1452		
目的	高齢者になっても、いつまでもいきいきと生活するための健康づくりを進める。															
目標	市オリジナル体操を製作し普及する。															
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		3,727		コスト情報・評価	総コスト(千円)		6,901		総合評価 B	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		1		内訳	事業費		3,727		効率性		A			
		国府支出金		3,726			人件費		3,174		有効性		B			
		地方債		0			公債費		0		適正に事業を実施できたため。					
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		61							
							世帯あたり(円)		146							
	評価理由															
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	「モックル介護予防体操」の普及が高齢者の介護予防に貢献できるため。										
今後の方向性	モックル介護予防体操を普及するために、中心となるリーダーを養成し、体操講師も地域に派遣する。															

事業 優先順位		1	細事業:モックル体操普及推進事業				整理 番号		01										
目 的		市オリジナルな介護予防体操を作成することで、高齢者が介護予防を身近に感じ、主体的に介護予防への取り組みができる。																	
目 標		市オリジナル体操の作成、普及																	
事業 実施主体		委 託		事業開始 年 度		平成24年度		根拠 法令											
事業費・財源					平成24年度		比 較		コスト 情報・従 事職員数 参考					平成24年度		比 較			
	財 源 内 訳	事業費（決算額）（千円）				3,727				内 訳	総コスト（千円）				6,901				
		一般財源				1					事業費				3,727				
		国府支出金				3,726					人件費				3,174				
		地方債				0					公債費				0				
		その他特定財源				0					一人あたり（円）				61				
						0					世帯あたり（円）				146				
						0					職員数（人）				0.40				
						0					再任用職員数（人）				0.00				
	今後の方向性		①「モックル介護予防体操」のリーダーを養成し、体操指導員を希望団体に派遣し普及する。②介護予防事業と連携し、普及する。																
評 価	妥当性		効率性		有効性		対象者		65歳以上の高齢者 30,579人（平成24年度末時点）										
	A		A		B		対象者												

事業：介護予防支援事業

1. 介護予防支援事業

高齢者になってもいつまでもいきいきと暮らしていただき、介護が必要な状況になるのを予防するための事業を行った。

細事業：モックル体操普及推進事業

1. モックル体操普及推進事業

高齢者にいつまでもいきいきと暮らしていただくために、NPO法人河内長野市総合スポーツ振興会に委託し、市オリジナルの「モックル介護予防体操」を作成した。この体操は、どこでも気軽におこなえるよう「立って」「椅子に座って」「床の上で」「口の体操」の4種類を作成した。



【立って】



【椅子に座って】



【床の上で】

(1) この体操を広く市民に普及するために

①CD・DVDを作成し、おおむね65歳以上の市民に解説図を添えて配布した。

- ・CD配布枚数：333枚
- ・DVD配布枚数：1,010枚



CD・DVD・解説図

②モックル介護予防体操リーダー養成講座を開催した。

- ・講座数(2日間で1講座)：5講座
- ・モックル介護予防体操リーダー数：86名

③体操の指導を希望する団体へ講師を派遣した。

- ・体操指導者派遣団体数 10団体